

令和元年度上山明新館高等学校 表彰式式辞

各分野で活躍し、輝かしい成績と実績を収めた功績により、表彰状や記念品を受賞された皆さん、誠におめでとうございます。

「各学科・コースでの成績優秀者」・「部活動や農業クラブなど各種大会での活躍した功労賞」・「3年間、学校を1日も休まないで登校した皆勤賞」、「検定3種目以上の1級合格者」など、今年度、また在学中、各分野において、日頃のたゆまぬ努力が実り、形になって本日の表彰につながったのだと思います。皆さんのこれまでの頑張りに心から敬意を表します。

このような賞や各種の資格検定の合格を得ることは、自分の目標を達成するだけではなく、ほかの人から客観的に評価され認めてもらえることでもあります。形あるものとしては、学校では進学や就職の際、調査書に記載することができますし、社会人になれば、履歴書に書くこともできます。また、必ずしも形があるものとは限りませんので、周りからの信頼や信望、尊敬という形で評価されます。これは、自らの目標を見失うことなく努力し、様々な試練を乗り越えて実現したものですので、大変価値があるものであるからです。ですから、受賞者の皆さんは自信と誇りにしてほしいと思います。

今回、受賞に至らなかった人も、これからの人生の中でチャンスはたくさんありますので、是非高みを目指してチャレンジしてほしいと思います。

また、今年の卒業生には、皆勤賞が74名おり、過去5年間を紐解くと最多の人数でした。3年間の無遅刻、無欠席、無欠課は、とても素晴らしいことです。これは、健康に過ごすことができたこと、そして、授業を大切にして休まず登校し、本分である学習や部活動などに励んだ証でもあります。是非、次の進路先においても、健康に留意して、今の志を持ち続けてほしいと思います。

最後に、本日の受賞には、皆さんをこれまで支え、応援してくれた御家族や友人、先生方など、たくさんの方がいたはずです。ぜひ、この機会に、その方々に感謝の気持ちを伝えて欲しいと思います。そうすれば、受賞の喜びは、受賞した皆さん一人のものだけではなく、関わった多くの方たちの喜びに広がるはずです。本日の受賞を、皆さんの大きな励みにして、今後とも、更なる高みを目指して精進し、明日からの新たな目標に向かって歩いていくことを期待し、式辞といたします。

令和2年2月28日

山形県立上山明新館高等学校長 阿部 孝